

も

く

じ

はじめに	1
小学校に入るまでに、こんな子どもに	2
小学校1・2年生の学習	3
小学校3・4年生の学習	5
小学校5・6年生の学習	7
小学生の生活習慣	9
小学生の読書	11
こんなときどうしたらいいの？Q&A 小学生編	13
中学校1・2・3年生の学習	15
中学生の生活習慣	19
中学生の読書	21
こんなときどうしたらいいの？Q&A 中学生編	23
おすすめの図書リスト	25



はじめに

学力を伸ばすためには、授業への取り組みはもちろんのことですが、家庭での過ごし方も大切です。家庭での過ごし方のポイントは、次の通りです。

1 「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムを整えましょう

脳の働きを高め、気持ちのよい1日を過ごすためには、早寝・早起きの習慣をつけて、バランスのとれた朝食をとることが重要です。

2 家庭学習の習慣を身につけましょう

家庭では、まず日々の宿題をきちんとすませることから始めましょう。そのうえで、予習や復習に取り組み、苦手なところを繰り返し学習することや、興味のあることを進んで調べるといった学習にも広がっていきたいものです。

そこで、家庭での学習習慣をつけるために、次の3つのことが考えられます。

(1) 勉強しやすい環境をつくる

子どもが勉強する部屋のテレビや音楽を消して、静かな環境をつくりましょう。また、子どもとテレビやゲームについての約束をつくり、きちんと守るように声がけすることも大切です。リビングでの学習が、効果的であるとも言われています。

(2) 学校での様子に関心をもつ

子どもが今、学校でがんばっていることや授業で学習していることなどに関心を持ちましょう。学校からのお便りや連絡帳を通して、学校の取り組みも見えてくると思います。

(3) 勉強している様子を見守る

子どもが計画を立てて、自分で学習を進めることができるように見守りましょう。

「手はかけないが、目はかける」ことを心がけ、自分でできるように見守りましょう。

3 家族とのかかわりを大切にしましょう

家庭で、家族で本を読んだり、地域の活動と一緒に参加したりすることで、子どもの成長に気づくことがあります。

また学校では、キャリア教育を計画的に進めています。主な内容は、身の回りの仕事や働くことの意義、自分の将来の生き方などについての学習です。そこで家庭においても、将来何になりたいか、どんな大人になりたいか、そのためにはどのような努力が必要かなどについて、家族の団らんで語り合うことが大切です。

家族とのかかわりは、子どもたちの心の栄養になります。

小学校に入るまでに、こんな子どもに

★この頃の育ちは★

身の回りのことが自分自身でできるようになり、よいこと、悪いことなどを自分で考えて行動する力が育ってきます。また、「遊び」を通して、たくさんのことに興味・関心をもって学んでいくのもこの時期です。

★かかわり方のポイント★

- ◇子どもの成長には個人差があります。焦らず、気負わず。
- ◇よいところを進んでほめましょう。自信と自分を大切にできる心が育ちます。
- ◇「繰り返し」が基本です。毎日取り組ませ、できることを増やしましょう。

★こんな子どもに★

自分から進んであいさつや返事をする子に

あいさつや返事ができることは、とても大事なことです。きちんと相手の目を見て「おはようございます」「はい」と言えるように、家庭でも習慣化を図りましょう。

たくさんの本に親しむ子に

「本好き」であることは、子どもにとって大きな財産になります。「知識」を得ることはもちろんのこと、「好奇心」や「集中力」を養うためにも、絵本の読み聞かせをしましょう。

みんなと力を合わせて遊ぶ子に

集団遊びを通して、子どもは「ほかの人」を知り、ルールを守ることや我慢することの大切さを学びます。思いやりの心、責任感も育まれます。集団で遊ぶ場を積極的に与えましょう。

好き嫌いしないで食べようとする子に

健康で丈夫な体をつくるためだけでなく、何でも食べよう、食べてみようとする態度は、誰とでも仲良くしようとする態度にもつながると言われています。「一口だけでも食べてみよう」と働きかけましょう。

